



ていがくねん
低学年

『あんちゃん』

たかべ せいいち さく どうしんしゃ
高部 晴市 作 童心社

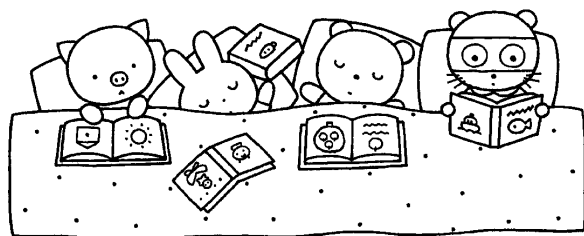
あんちゃんは、からだが大きくて
うでずもうもがっこうでいちばん。
じまんのにいちちゃんなんだ。

E
タ



あき きこう 秋は気候がおだやかで、よる ながく、ほん よ
最もよい季節です。

あき よなが 秋の夜長、ちよっとテレビを消してほんをひらいて
みませんか。



ちゅう
中
がくねん
学年

『ぼくの一輪車は
雲の上』

やまぐち さとし さく ぶんけんしゅつぱん
山口 理 作 文研出版

なに やっても「ふつう」のしょうねん
健太は、ふじさん のてっぺんを一輪車
で走ってみたいという夢を持ちま
す。

913
ヤ

こう
高
がくねん
学年

たてく しよくにん せん たろう
『建具職人の千太郎』

いわさき きょうこ さく しゅつぱん
岩崎 京子 作 くもん出版

さい たてく や ほうこう だ
7歳で建具屋に奉公に出された
千太郎。まだ友だちと遊んでいたい
さかりですが、いろんなひととであ
なで、しだいに腕のよい建具職
人を目指すようになります。

913
イ



きせつ
季節のことば



とうかしたしむ（灯火親しむ）

あかりの下で、勉強したり本を読
んだりすること。

このことばは、中国の韓愈という
人の詩の一節が元になっています。
すずしくて夜の長い秋は、読書に適
しているという意味の詩です。



おしらせ



☆校内読書週間

10月28日（月）～
11月1日（金）

図書室に本を借りに
来てください。



こんげつの詩



くぬぎばやしで
どんぐりを だいていたら
かぜが ひゅうと
とおりました
みあげると
こえだを すかして
あおいそらが みえました

きれいだよきれいだよ と
なんかいい いたくなる
あおい そらでした

「あきのそら」 こねずみしゅん

しゅつてん
出典『のはらうたV』
くどうなおこ さく どうわや
工藤直子 作 童話屋